

1 蜻蛉池公園

芝生が広がり、公園内には遊具もあります。公園内には、四季折々に楽しめる花や木が植えられており、春秋の渡りの時期や冬場には、多くの鳥でにぎわいます。運が良ければ、オオタカのハンティングシーンも見られるかも？

2 大池

公園内にある大きな池です。冬場には多くのカモでにぎわいます。上空を優雅に飛ぶミサゴも見られるかもしれません。

3~4 水仙園~花木園

フジ棚を中心にツツジ、ユキヤナギ、レンギョウ、ハナミズキ、ムクゲ、クチナシ、コブシなど、春を中心にさまざまな花が楽しめます。

5 アジサイ園

公園内にある大きな池です。冬場には多くのカモでにぎわいます。上空を優雅に飛ぶミサゴも見られるかもしれません。

湿地ではいろいろなトンボが見られます。秋にはハツタやコオロギも多く、たくさんの虫の音が聞かれます。

冬場は、ミサゴやノスリ、オオタカなどいろいろな種類の猛禽類が見られます。

水辺にはダイサギやアオサギが探餌し、ヨシ原ではオオヨシキリが大きな声でさえずっています。水辺の宝石、カワセミの姿もよく見られます。

このあずまやには、春から夏にかけて、たくさんのスズメの巣がつくられます。スズメマンションです。

芝生の上に、冬から春にかけては、ホオジロやヒンズイ、タビハリなどがたくさんいます。春から夏にはハクセキレイやセグロセキレイも見られます。

路傍・池の周りでは、春は「つくし」やタンポポ、初夏はチガヤ、夏はネジバナ、秋はススキ、といった季節の花々が見られます。

池では、いろいろな種類のトンボが間近で観察でき、スズレンが咲きます。また、池の周辺では、レンギョウやユキヤナギ、クチナシなどの花を楽しめるほか、桜やヤマモモ、カリンなどいろいろな果樹が植えられています。

冬場は多くのカモ類でにぎわいます。

パンヤカイツブリの子育てが見られるかも？冬にはヒドリガモが多数越冬します。夏場に池をのぞくと、たくさんのタマシジコが泳いでいるのを見ることが出来ます。

春や秋の渡りの季節には、キビタキやエノビタキなど、かわいい小鳥が近くで観察でき、絶好の写真撮影スポットに！

冬~春にかけて、ツバキやサクラの花の蜜を吸いに、メジロなどが訪れます。

園路沿いにハナミズキやハゼなど園芸木、その後の林はスタジイ、エノキ、クスノキ、ヤマハゼ、ヤマモモなどの自然の樹木が見られます。

用水路をのぞくと、アメリカザリガニやドジョウがいます。

橋の上からウキコリというハゼの仲間がたくさん見られます。

池には一面のスズレンが咲き、イトトンボなども多く見られます。土手にはタンポポがたくさん咲き、カンサイタンポポとセイウタンポポ両方が見られます。カワラビワが、縮毛を食べているのを見ることが出来ます。

菜の花畑が広がっているほか、ホトケノザやハハコグサなど春の花がたくさん見られます。

「生きた化石」と呼ばれるメタセコイアの植樹並木があります。メタセコイアは日本では化石でしか見つかっていません。

水田が残っていて、初夏の夕方にはカエルの大合唱が聞かれます。

ガクアジサイ、キボウシ類、ツツジ類など、花の咲く草木がいっぱいあります。

木のこずえて、「一筆啓上つまつり候」と聞きなされるホオジロが、春から夏にかけて、よくさえずります。冬には、コジュケイが顔をたすこともあります。雨の降った日には、溝にプラナリアが見られることもあります。

ミカン畑が広がり、春には甘い香りがつづまれます。

ゲンジボタルやハイケボタルが見られます。

春にはアケビの花が満開です。秋には実がなります。とてもおいしいです。フェンスとつる植物の間から、池の中をのぞくと、パンが子育てをしているのを見られることがあります。

「道の駅」



0 蜻蛉池 名前のとおり、いろいろな種類のトンボが生息しています。冬場は、鳥類の絶好の観察ポイントになります。多くのカモやミサゴ、ノスリ、オオタカなどが観察できます。



7 ヒトオプ池 林に囲まれた湿地には水生植物が茂り、いろいろな種類のトンボが生息しています。周辺の林にはメジロやキビタキなど野鳥も多く見られます。



8 水田 この付近の丘陵地は畑が多く、水田はめずらしい。周辺では、春~夏にかけて、カエルが見られます。



9 菜の花畑 畑やミカン畑が広がります。春は、菜の花畑に。

凡例

— : ルート

☀ : 眺望ポイント

♂ ♀ : トイレ

0 100m 500m

蜻蛉池公園や農地の自然探訪コース